

コロロメソッド発達療育支援センター 支援プログラム

事業所名	障害児通所支援事業所 コロロ琉球教室	支援内容	児童発達支援	改定日 令和8年4月20日
営業時間	9:30～13:30	送迎実施 無し		
法人理念	発達障害児者の身体の発達・社会適応力の発達を促進し生活の安定を図るとともに、障害の程度によらず発達障害児者が生涯にわたり社会適応できる支援モデルを示す			

支援方針	5領域の発達支援を概念学習、行動トレーニング、適応力トレーニングを療育の3本柱に集約し、身体の発達を促し、家庭や園、身近な地域生活への社会適応力を高める			
本人支援	5領域	療育の3本柱	療育課題	発達段階 第一段階 ※
	認知・行動	概念学習	学習態勢形成	多動の改善、身体機能分化促進による行動の持続、視覚（共同注意等）発達支援、学習態勢形成 5分～30分
	言語コミュニケーション			
	運動・感覚	行動トレーニング	生活・社会のルール	先走り行動の抑制 静かに待つ 指示を聞いて行動する
			自立歩行の確立	異常反射の抑制 手つなぎ歩行
			機能分化と協応動作	動作模倣 手指作業 上肢下肢/目と手/左右/手と口の分化
	運動		異常反射の抑制・静止 姿勢保持 動作模倣	
	健康・生活	適応力トレーニング	食行動	舌の反射抑制 咀嚼・嚥下のリズム 他者の介助を受けて食べる 口腔機能発達促進による偏食指導
			基本的生活習慣	受け身行動（排泄・歯磨き・散髪・着脱・入浴）
			健康	歯科・病院に慣れる 絆創膏、塗り薬、治療に慣れる
生活技能	配膳・下膳などの簡単なお手伝い			
人間関係・社会性	集団行動		集団歩行・注視・待機	

※発達段階は年齢ではなく脳機能の状態によって評価するべきものです。

幼児期であっても上記第一段階の課題を達成しているお子さんは第二段階の課題へ進みます。

第二段階の課題については放課後等デイサービスの支援プログラムを参照してください。

家族支援	事業所における対面相談支援（面接、親子トレーニング）、きょうだい支援（面接での聞き取りをもとにアドバイス、集団活動への参加からみえる課題の提示） 家庭支援（居宅訪問による親子トレーニング）、勉強会（事業所における対面式、オンライン式）、モニタリングや担当者会議等の支援会議への出席、 保育園・学校等への見学・指導助言
地域支援・連携	講師派遣事業、講演会開催、教材・機関誌販売（出版：コロロ発達療育センター）、支援会議、モニタリング、研修会など
移行支援	四段階評価表を用いた発達評価と移行先との共有、対応法・環境設定、家族支援の内容、家庭状況の共有、併行通園の場合の重点連携事項の共有、利用日数や時間等の調整
職員の資質向上に資する取り組み	所内職員研修（毎週）、本部講師による研修（年4回程度）、法定研修、人事考課制度（年3回）、資格取得支援制度
主な行事	ダイナミックリズム、登山ハイキング、合宿、親子トレーニング、保護者勉強会、療育公開講座など